

News Release

2014年8月22日

株式会社日立システムズ

複雑化したネットワークを可視化し、運用課題を解決するSDN管理サービスを販売開始 SDN 管理製品「Anuta NCX」を活用し、既存設備の入れ替えなくネットワークの SDN 化と運用効率向上を実現

株式会社日立システムズ(代表取締役 取締役社長:高橋 直也、本社:東京都品川区/以下、日立システムズ)は、これまで提供してきた「NETFORWARD ネットワーク仮想化サービス」の機能を強化し、多拠点・大規模なネットワークを管理する企業に向けて、既存のネットワーク設備を変更せず、ソフトウェアによりネットワークの構成管理、設定、制御(Software-Defined Networking/SDN)を行いネットワークの可視化と運用効率を向上する「SDN 管理サービス」を本日から提供開始します。

本サービスは、Anuta Networks, Inc. (Founder, President and CEO: Chandu Guntakala、本社:米国カリフォルニア州/以下、アヌータ社)のソフトウェア製品「Anuta NCX」を活用し、日立システムズが長年培ったネットワーク、ストレージ、サーバーの導入インテグレーション、運用監視サービスのノウハウを基に、導入アセスメントから、構築、運用まで提供するサービスです。

サーバーの仮想化によるシステム統合が進む一方で、ネットワークは多様なベンダーの機器が並存して運用管理が複雑化している場合があります、ネットワーク構成変更時のヒューマンエラーの要因となっています。また、利用者が急増するクラウドサービス提供企業や、多店舗展開企業など、頻繁かつタイムリーなシステム増設や変更を求められる業態では、安全なネットワークをいかに早く準備できるかが、事業成功の鍵となります。ソフトウェアによるネットワークの一元管理と制御をする SDN は、これらの課題を解決する手段の一つとして期待されていますが、SDN 対応機器に全面的にネットワーク機器を切り替えるには大きな初期投資もかかるため導入に踏み切れない企業も多くあります。

こうした背景を踏まえ、日立システムズはネットワークの可視化と運用効率を向上する「SDN 管理サービス」の提供を開始します。本サービスは、アヌータ社の SDN 管理ソフトウェア製品「Anuta NCX」を活用して提供するもので、スイッチやルーター、ファイアウォール、負荷分散装置など、既存のネットワーク機器が稼働している環境において、仮想サーバー上の仮想スイッチも含めて、統一的に構成を可視化し、ソフトウェアでの管理・制御を実現します。ネットワーク機器は、Openflow(*1)製品、非 Openflow 製品のいずれにも対応しているため、新たにネットワーク機器を入れ替える必要がありません。

従来のネットワーク構築では、新たな機種を導入する都度、ベンダーごとに異なるコンフィギュレーションを人が学習し、手動で設定していましたが、「Anuta NCX」は、さまざまなベンダーのコンフィギュレーションを自動生成しますので、専門技術者に依存することなく、ネットワーク設計を行うことが可能です。

利用者は、グラフィカルな画面からアイコン操作により、ネットワーク構成図を作成し、利用業務別、内部・外部・DMZセグメント(*2)など、管理しやすい単位でグループ化し、カタログ(*3)として登録します。構成の変更が必要になる場合は、該当のカタログを選択し、修正を加えて実行ボタンを押すと、関連する全てのネットワーク機器に対して自動的に設定を反映できます。ネットワーク構成図を作成する際の不整合チェック、

承認プロセスを経ての設定許可機能なども備えているため、ヒューマンエラーによる事故の抑止効果も期待できます。また、可視化機能により、キャパシティの状態や、発生中のトラブルに関する影響範囲を即座に把握することもできるため、質の高い運用により、ネットワークの可用性、信頼性の向上につなげることができます。

本サービスにより、既存のネットワークを変えずに SDN の特長である集中管理を行い、運用コストの削減、迅速なシステム拡張を実現できます。また、お客さまがインフラ基盤の仮想化、クラウド化を段階的に進める場合にも、現状把握から設計、構築、運用まで、必要となる工程をサポートした製品であるため、長期的な視点で TCO 削減に寄与します。また、将来的には本サービスをクラウドでの提供を予定しています。クラウドでの提供により、SDN 基盤は、日立システムズのデータセンターで管理されるため、災害時でも早期のネットワーク復旧が可能な環境を実現します。

日立システムズでは、本サービスをはじめ、NETFORWARD ネットワーク仮想化サービスを多拠点・大規模なネットワークを管理する企業や、クラウドサービス提供企業、データセンター事業者などに拡販します。

- *1 Openflow: SDN を実現するための技術の一つ。
- *2 DMZ セグメント: 一般的に Web サーバーやメールサーバーなどが置かれるエリア。
- *3 カタログ: 制御対象のネットワークの構成要素を一覧表にしたもの。

なお、今回の発表に関し、アヌータ社から以下のコメントをいただいています。

ネットワークソリューションの第一人者である日立システムズが、その経験と深い技術力で複雑な SDN ソリューションを提供することはネットワークの SDN 化を計画しているお客さまの成功に繋がります。アヌータネットワークスは日立システムズと協業出来ることを大変嬉しく思います。

Anuta Networks, Inc.
CEO Chandu Guntakala

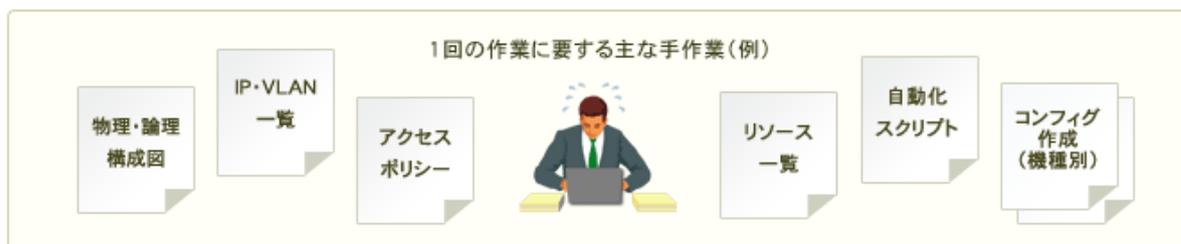
■「AnutaNCX」がサポートするベンダー(2014年7月現在)

ルーター・スイッチ(8ベンダー)	ファイアウォール(5ベンダー)	負荷分散装置(5ベンダー)
Apresia	Check Point	Cisco
AlaxalA	Cisco	Citrix
Arista	Fortinet	F5
Brocade	Juniper	Radware
Cisco	Palo Alto Networks	Riverbed
Dell/Force10		
HP		
VMware (vSwitch)		

現在、未サポートのベンダー製品も、追加サポートが可能です。

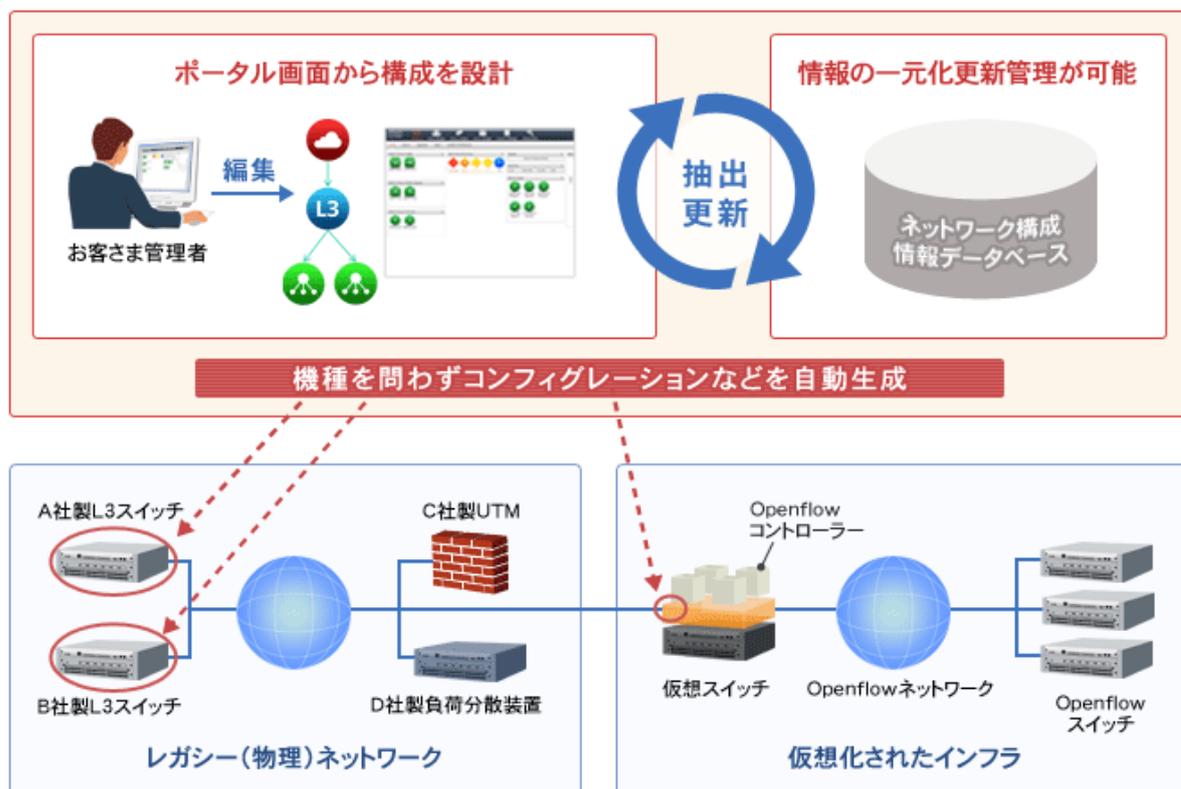
■SDN 管理サービス概要

導入前 従来のネットワーク作業



「SDN管理サービス」が
工数の多い手作業を一元化・自動化します！

導入後 SDN管理サービス



*本図では、アヌータ社のソフトウェア製品「Anuta NCX」のポータル画面などを利用しています。

■「SDN 管理サービス」の Web サイト

<http://www.hitachi-systems.com/solution/s0302/sdn/sdn-management/>

■アナータ社について

Anuta Networks, Inc.は、2010年に設立、大規模の企業やサービスプロバイダー向けに、既設ネットワーク(L2-L7)に仮想化ソリューションを提供した最初の会社です。Cisco Systems、F5 Networks、VMwareほか、業界の多数のベンダーと提携し、企業におけるマルチベンダーネットワーク基盤導入のリードタイム短縮を実現しています。本社は米国シリコンバレーにあり、日本、オーストラリア、アイルランド、フランス、スペイン、インドに拠点を置いています。2014年度のInteropでは、企業ネットワーク部門のファイナリストとして表彰されるなど、高い評価を受けています。

■お客さまからのお問い合わせ先

株式会社日立システムズ

商品お問い合わせ窓口:TEL 0120-346-401(受付時間:9時~17時/土・日・祝日は除く)

お問い合わせWebフォーム:<https://www.hitachi-systems.com/d-inquiry/contact.cgi>

■報道機関のお問い合わせ先

株式会社日立システムズ CSR本部 コーポレート・コミュニケーション部 杉山、住川

〒141-8672 東京都品川区大崎一丁目2番1号

TEL:03-5435-5002(直通) E-mail : press.we@ml.hitachi-systems.com

以上

*記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。